

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 心 会 発 行

10年 返葉大 (合)	6月現在 地区区計	会員数 135名 203名 31名 369名	10年 発行 千編 白	6月 葉集 井	(311号) 者 関 者 麗
-------------------	--------------	------------------------------------	----------------------	---------------	----------------------------

行事予定

○県本部総会(役員改選)

日時・6月28日(日)

会場・平塚農業会館

○岳風忌

日時・7月1日(水)

場所・諏訪地蔵寺

碩心会から重松由岳、金子訓岳、長谷川清岳の3名の方が合祀されます。

○碩心会吟道温習会

日時・7月5日(日)9時30分より

会場・逗子市立図書館ホール

○碩心会夏期吟道講習会

日時・7月11日(土)9時30分より

会場・逗子市立図書館ホール

講師・加藤岳相・雑詩

千葉岳関・秋風の歌

加藤岳洵・鵜渡六郎(十月廿日書)

中村岳愛・桜花の詞

鈴木岳抄・三夕の歌(肥後ひこぞう)

村田岳瀨・風(磯崎)に至る

受講料・千円(弁当、テキスト代含む)

多数の御参加をお待ちしています。

県本部・指導者吟道講座のご案内

10年度より(準師範位講座)と(師範位以上講座)の2回に分けて行なわれます。

○期日

8月9日(日) (準師範位講座)

8月16日(日) (師範位以上講座)

○会場

エポックなかはら大ホール

JR南武線「武蔵中原駅」下車、改札

口より連絡通路で直接会場へ。

座席は舞台より中道路を隔てて(右側男性)(左側女性)(2階役員席)

○時間

受付9時30分より。開講式9時55分。

講習第一時限10時10分より第5時限16

時20分迄。解散16時35分

○受講料

各講座千五百円(テキスト、弁当、お

茶を含む)。両方受講の方は三千円。

○申込み切

6月28日(日)県本部総会にて受付。

碩心会は5月31日(木)切りました。(杉山)

※当日は筆記用具、吟道手帳持参。

碩心会新役員決定

五月三十一日總會に於て、左記の方々が選出されました。

(平成10年～11年)

会 長・千葉岳関
副会長・加藤岳洵 中村岳愛 松井正岳
顧問・加藤岳相
相談役・三井岳龍 中村岳郵
総務部長・松井正岳(副)舟渡舟岳(副)鈴木江岳
許証部長・上村象岳(副)加藤芳岳(副)根岸啓岳
企画部長・内山俊岳(副)田中明岳(副)星野輝岳
教務部長・杉山岳雪(副)立澤御岳(副)水上昌岳
(副)佐久間爽岳
広報部長・白井岳麗
(副)磯村朋岳(副)西岡清岳
会計部長・矢嶋岳悦(副)高井道岳(副)小菅幸岳
運地区長・村田岳瀨(副)森晴岳(副)西川幸岳
業地区長・沼田岳義(副)鈴木喜岳(副)福本辰岳
大地区長・山口岳夕(副)岡本瑞岳
会計監査・鈴木岳抄(副)宇都宮徳岳
参 事・沼田岳雷・井澤岳潮・竹石岳弘
秋本岳梁・鈴木岳浩・木村岳松

就任のごあいさつ

会 長 千葉 岳 関

平成十年五月三十一日、本年の碩心会總會役員改選において、皆様方の絶大なる御支援の下に会長に就任させて頂きました。

身にあまる光栄とともに、その責任の重大さに身の引きしまる思いで一杯であります。

思えば当会も、創設以来六十周年を既に経過いたしました。創設者の松井岳洋先生の御薫陶を受けられた方も次第に少なくなつてきております。年令で言えば六十年は還暦、いろいろ考え直す時期と申しましょうか。

常に先生は「初心に返れ、原点に戻つて見つめ直せ。吟の上手下手は問題外である。慢心ほど恐ろしいものは無い」等々、折にふれて教えて下さつた。今こそ、これらの教訓を思い返し「心」の吟に立ち戻る必要がありはしないか。そのような思いがしてなりません。申し遅れましたが前会長の加藤岳相先生は短期間ででしたが、いろいろ会の改革に取組み業績を挙げられました。改めて敬意を表し皆様を代表し御礼を申し述べたいと思ひます。さて、これから新役員の方々と協議し十分

に、その持てる力を發揮して頂くつもりであります。私が現在、心に期している点を二、三まず申し述べたいと思ひます。

その第一は役員は運営にあたり、全会員が納得できる筋の通つた考え方に立つことを根本とすること。

第二は極めて明るく、楽しい、そして真の和を常に目標においた会に育てる。

第三は会員の構成割から考えて、女性副会長の指名が重要であること。

第四は可能な限り若手の会員に役を引き受けて頂き活潑化させたいこと。

第五は以上の諸点のムード造りだけではなく和の輪を拡大して、二十一世紀に残る立派な会に発展させる。

こうした考え方に役員方の知恵を絞って頂きたいものと、期待しおるところであります。

近日中午に正副部長会議を設けて、実質的活動を開始いたします所存ですので、皆様方の更なる御支援、御鞭撻を頂きたいものと心から念願いたしますおるところであります。

誠に粗辞ですが、これをもちまして就任の御挨拶いたします。

辞任の挨拶

顧問 加藤 岳 相

光陰矢の如しと言われておりますが、月日のたつのは早いもので、根岸会長の代行と併せて三年。浅学、非才の私でしたが、会員皆様の絶大なご協力のもとに、会長を努めさせて頂きました。私の信念として、「早次の世代の人に引き継ぎ、時世に即応した碩心会の発展を望む」と共に、私も老齢になり、皆様に迷惑をかけてはいけないと言う懸念から、役員の皆様のご了解を得て、今回の総会に於て会長をやめさせて頂きました。

在任中は色々のご協力いただきました。有難うございました。厚く御礼申し上げます。

今後は一会員として生命の続く限り、吟の研鑽に精進し、碩心会の発展に貢献致す所存でありますのでよろしく願い申し上げますと共に、皆様のご健康を祈念して辞任のご挨拶と致します。

「総会の議事録は次号7月に掲載いたします。」

バトンを渡して (許証)

相談役 中村 岳 郵

碩心会の許証担当事務からようやく開放されました。会の発展と共に歩んだこの二十二年…。山のようになった書類を、後任の上村先生に渡し、ガラソとなった書庫を眺め、感無量です。

21世紀にむけ、若い方々の一層の奮起を期待しています。

二十年を振り返って (広報)

副会長 中村 岳 愛

平成十年総会の日、役員改選に当り、広報部長をおりることになりました。振り返れば月報は、昭和47年8月「吟道月報」の名で創刊、三井、加藤(海)先生のとを私が引き受け、途中で、月報「碩心」と改名、私もちようど満二十年間努めさせて頂きました。

月報はまさに碩心会の歴史…。創刊からの月報に目を通せば、過ぎ去った色々の行事等、又、入退会の欄に目をやると、あの人、この人が思い浮び、何ともいえない気持ちになり

ます。

いつの折か、今は亡き我孫子岳晴先生が、全国に会誌発行の会は数あれど、こうして毎月発行し、一号も欠なく続いているのはまずないでしょう。と言われた言葉が印象に残り忘れられません。どうぞ後任の方々にも今後ともがんばって継続していただきたいことをお願いして辞任の言葉とさせて頂きました。

県本部 高齢者表彰

平成10年度 来る9月6日(日)横須賀第二地区大会に於て、左記の方々が表彰されます。

村田 澄枝(岳瀨) 石川登代子(豊岳)
長島 芳子(玉岳) 矢島 俊雄(俊岳)
坂田ふくみ(昇岳) 大沼さだ子(紫岳)
乾 彰子(彰風) 嵐田 平二(光風)

第3回県本部

年令別吟詠大会に入賞

去る5月5日の右大会に入賞されました。

漢詩の部・西川幸岳(真 澄)
和歌の部・新井国山(逗子B)

訪松岡山東慶寺 (七言律詩)

栄 支部 岡 本 瑞 岳

驅登石磴女人悲 驅け登る石磴女人悲し

く

傾看禪扉萬苦思 仰ぎ看る禪扉万苦思う

語昔法堂浮生外 昔を語る法堂浮生の外

樂今瓊樹漾香時 今を樂しむ瓊樹漾香の時

時

啼鶯欲去聲音乱 啼鶯去らんと欲して聲音乱れ

音乱れ

遊子忘歸情調夷 遊子歸るを忘れて情調夷かなり

夷かなり

幽徑逍遙無限興 幽徑逍遙 無限の興

探梅一日夕陽遲 探梅一日 夕陽遅し

(語 釈)

石磴…石段 禪扉…禪寺の門

瓊樹…美しい樹 漾香…香りがただよう

健康十訓

栄 支部 山 口 岳 夕

毎日の健康は誰でも大事ですが、詩吟の勉強をしておりますと、声の調子には苦勞します。私も若い時はそんな事何も考えなかつたのですが、年と共に少し疲れると此の頃は声が出なくなつたのが悩みです。

私が毎日愛用している湯呑に、とても良い言葉がありましたのでご参考までに。

健康十訓

- 一、 少肉多菜 肉を少なく野菜を多く。
 - 二、 少塩多酢 塩類を少なく酢を多く。
 - 三、 少糖多果 砂糖を少なく果物を多く。
 - 四、 小食多嚼 少なく食べて良く噛む。
 - 五、 小言多行 おしゃべりを慎んで多く実行する。
 - 六、 少衣多浴 薄着でよく風呂に入る。
 - 七、 少欲多施 欲望をひかえ施しを多く。
 - 八、 少憂多眠 くよくよせずよく眠る。
 - 九、 少車多歩 車に乗らず、よく歩く。
 - 十、 少憤多笑 あまり怒らずよく笑う。
- 多分皆様はすでに実行していられると思いますが、お互いに健康に気をつけましょう。

西郷の実像は……

上野公園の西郷隆盛の銅像は、高村光雲の制作であるが、除幕式の折、西郷夫人は「ごげんお人じやなかつた」と叫んだという。あまり似ていなかつたらしい。西郷は写真嫌いに徹し、教科書などの西郷像は、イタリヤの画家キヨソネが、西郷の弟従道と、いとこの大山巖をモデルにして二人を併せて書きあげたのが、私達がよくみる西郷像だそうです。相撲の武蔵丸の顔がちらつきますね。(岳愛)

(入 会)

493 菅原 喜代 葉山町一色五五三―十九

(一色) ☎〇四六八―七六一〇八一―

(退 会)

91 小形 雄岳(逗子) 142 宮本 明岳(長柄)

143 宮本 香岳(長柄) 215 徳井 直風(戸塚)

321 加賀山翠山(戸塚)

編集後記

311号から、先任部長の中村先生から受けつぎ、六月号から新メンバーで第一歩をあゆみはじめました。みんなで力を合せ編集にとりくんで行きたいと思ひます。会員皆様のお声をきかせて下さい。お待ちしております。